



2020年9月15日

各位

会社名 株式会社ジェイック

代表者名 代表取締役 佐藤 剛志

(コード番号：7073 東証マザーズ)

問合せ先 取締役経営企画本部長 谷中 拓生

(TEL. 03-5282-7608)

### <マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

○ 開催状況

開催日時 2020年9月15日 15:00~16:00

開催方法 オンラインによるライブ配信  
視聴者からチャットで質問を受け付け、回答を実施

開催場所 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 15階

説明会資料名 2021年1月期 第2四半期決算説明会資料

#### 【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以上



私たちは、変わる。

CHANGE PROMOTER.

JAIC 人と組織のチェンジ・プロモーター  
ジェイック

# 2021年1月期 第2四半期 決算説明資料

JAIC

株式会社ジェイック

### ミッション

企業のホームドクター、人材のメンターとなり、人と組織の限りない可能性に貢献し続ける。

### ビジョン

「学ぶ楽しさ」「働く幸せ」「成長する喜び」に満ちあふれた社会を実現する。

**CHANGE**  
人と組織のチェンジ・プロモーター  
**PROMOTER.**

**就職ポテンシャル層\*を対象に、  
採用と教育を融合させた人材育成紹介会社**

\*就職ポテンシャル層：就職が一筋縄ではいかない求職者  
フリーター・第二新卒・大学中退者・就活苦戦の大学4年生・留年生・留学生等

1. 2021年1月期上半期決算実績
2. 新型コロナウイルスの影響
3. 下半期の見通しと業績予想
4. 本資料の取り扱いについて

# 1. 2021年1月期上半期決算実績

2. 新型コロナウイルスの影響

3. 下半期の見通しと業績予想

4. 本資料の取り扱いについて

- 新型コロナウイルスの影響で求人企業の減少が顕著となり、大幅な減収
- 販促費の削減などコスト削減を行うも、減収による落ち込みを吸収できず、赤字を計上

(単位：百万円)

	20/1期 上半期	21/1期 上半期	前年同期 差額
売上高	1,622	1,200	△422
営業利益（損失）	245	△140	△385
経常利益（損失）	241	△142	△383
親会社株主に帰属する 四半期純利益（損失）	159	△97	△257

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失の計上等により312,175千円の支出
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により85,595千円の支出
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れ等により365,141千円の収入

(単位：千円)	2020年1月期2Q	2021年1月期2Q
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>280,567</b>	<b>△312,175</b>
税引前調整前当期純利益又は純損失	241,890	△142,757
減価償却費	17,018	29,128
未払金の増減額	12,624	5,916
売上債権の増減額（△は増加）	△32,359	22,598
その他	41,393	△227,061
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△132,372</b>	<b>△85,595</b>
有形固定資産の取得による支出	△1,850	△31,914
無形固定資産の取得による支出	△110,000	△26,795
その他	△20,522	△26,885
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△59,637</b>	<b>365,141</b>
長期借入れによる収入	100,000	500,000
長期借入金返済による支出	△153,321	△71,886
配当金の支払額	△44,274	△63,815
その他	37,958	842
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>110</b>	<b>52</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額（△は減少）</b>	<b>88,667</b>	<b>△32,576</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,247,841</b>	<b>1,162,012</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,336,508</b>	<b>1,129,436</b>

- 広島・仙台両支店および熊本オフィスの開設により、固定資産は106,429千円増加
- 新型コロナウイルスへの対応策として行った借入により、固定負債が473,442千円増加

(単位：千円)

資産	前期	当第2四半期	増減額
流動資産	1,408,457	1,379,931	-28,525
現金及び預金	1,162,012	1,129,436	-32,576
売掛金	177,257	154,658	-22,598
その他	69,186	95,836	+26,649
固定資産	671,847	778,277	+106,429
有形固定資産	67,475	107,648	+40,172
無形固定資産	149,120	154,626	+5,505
投資その他の資産	455,251	516,002	+60,751
資産合計	2,080,304	2,158,208	+77,904

負債及び純資産	前期	当第2四半期	増減額
流動負債	641,402	417,988	-223,414
1年内返済予定の 長期借入金	144,456	112,230	-32,226
未払金	72,152	78,128	+5,975
その他	424,794	227,629	-197,164
固定負債	411,321	884,764	+473,442
負債合計	1,052,724	1,302,753	+250,028
純資産合計	1,027,579	855,455	-172,124
負債純資産合計	2,080,304	2,158,208	+77,904

1. 2021年1月期上半期決算実績
- 2. 新型コロナウイルスの影響**
3. 下半期の見通しと業績予想
4. 本資料の取り扱いについて



5日間の就活研修

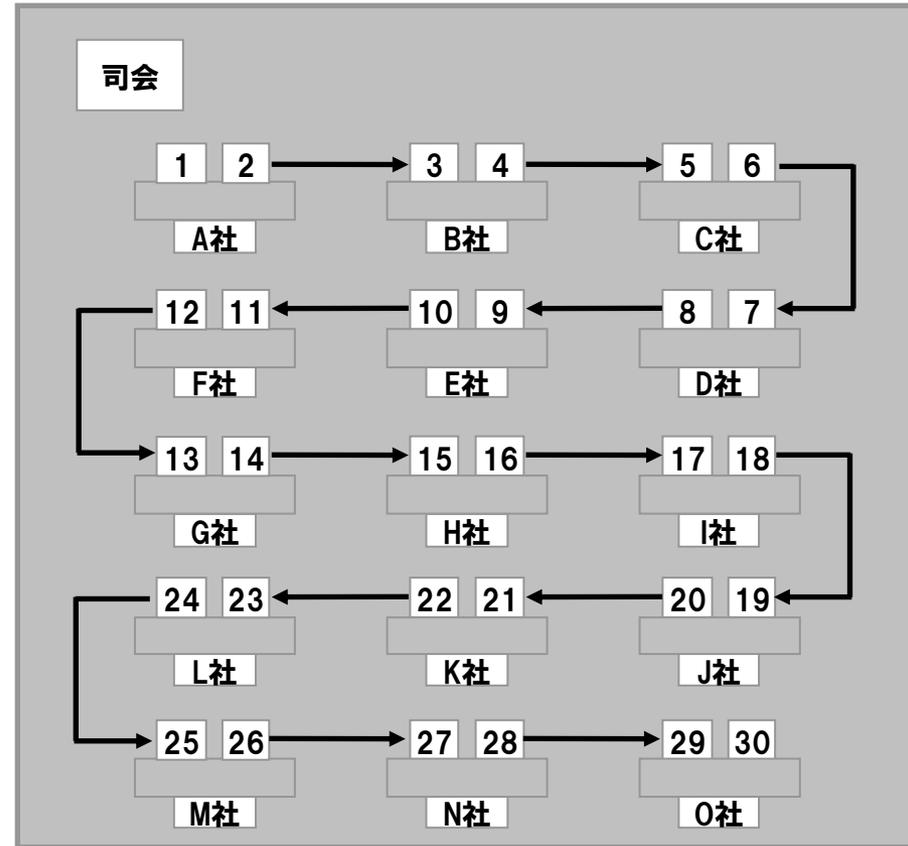


集団面接会



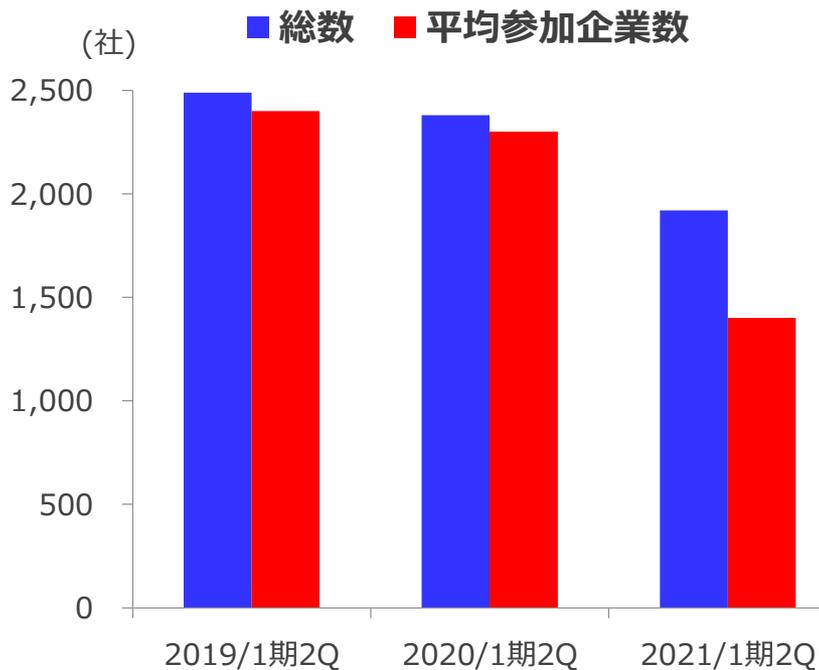
企業への継続的な価値提供

- 集団面接会は、企業約20社と求職者約20名で実施。ローテーションの総当たり方式
- 参加企業は求職者全員と一度に面接できるため、適性・相性の比較検討が可能

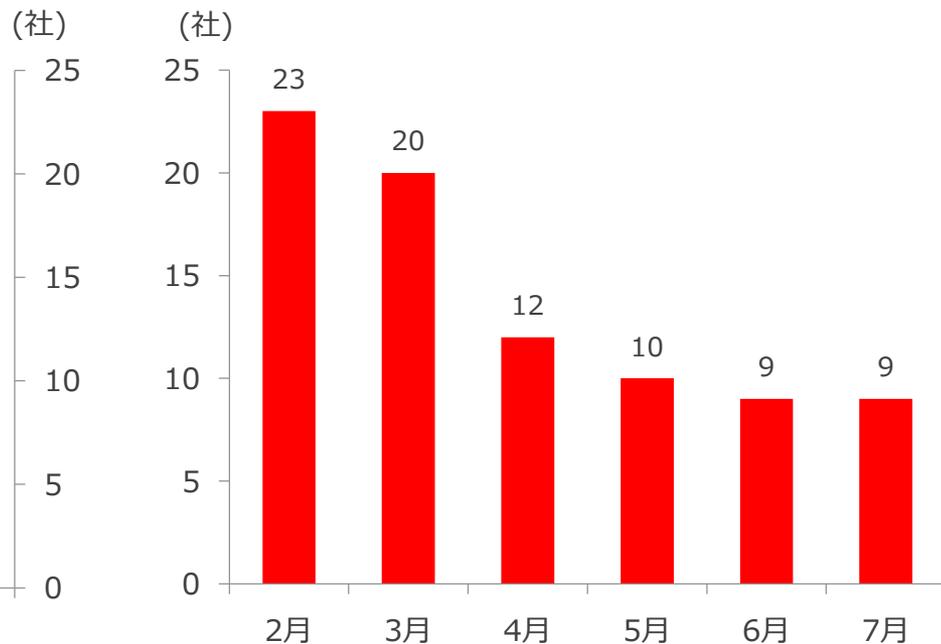


- 上半期の集団面接会参加企業数は、前々期2,489社、前期2,380社、今期1,920社と減少
- 集団面接会 1 回あたりの平均参加企業数も、前々期24社、前期23社、今期14社と減少
- コロナ禍となってから、平均参加企業数は 1 桁台に下落

集団面接会参加企業数と  
1 面接会あたりの平均参加企業数

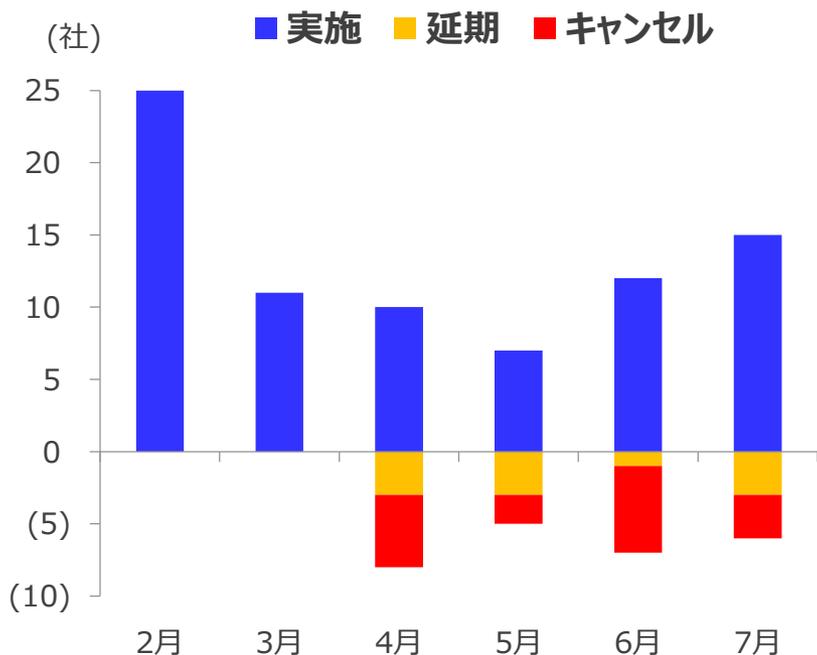


1 面接会あたりの  
平均参加企業数 (今期)

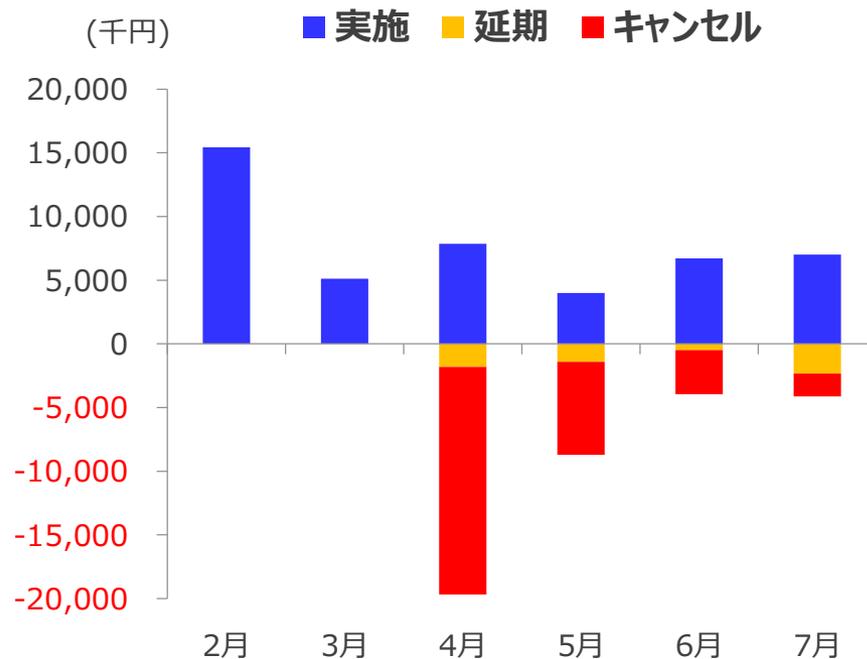


- 教育研修事業は、4～7月にかけて、延期が10社、キャンセルが16社発生
- これにより、同期間において、3,500万円強の売上損失

教育研修事業における  
法人向け研修の実施状況



法人向け研修の受注・延期・キャンセル  
により発生した金額



- 緊急事態宣言発出の翌日（4月8日）より社員は在宅勤務とし、現在も継続中
- 求職者や顧客企業に対しても、さまざまなサービスをオンラインにて提供

## 当社社員

- ・感染防止のため、雇用形態を問わず、全社員を在宅勤務へ
- ・社内研修や会議等もすべてオンラインで実施
- ・接触確認アプリを会社貸与のスマートフォンに導入

## 求職者の方

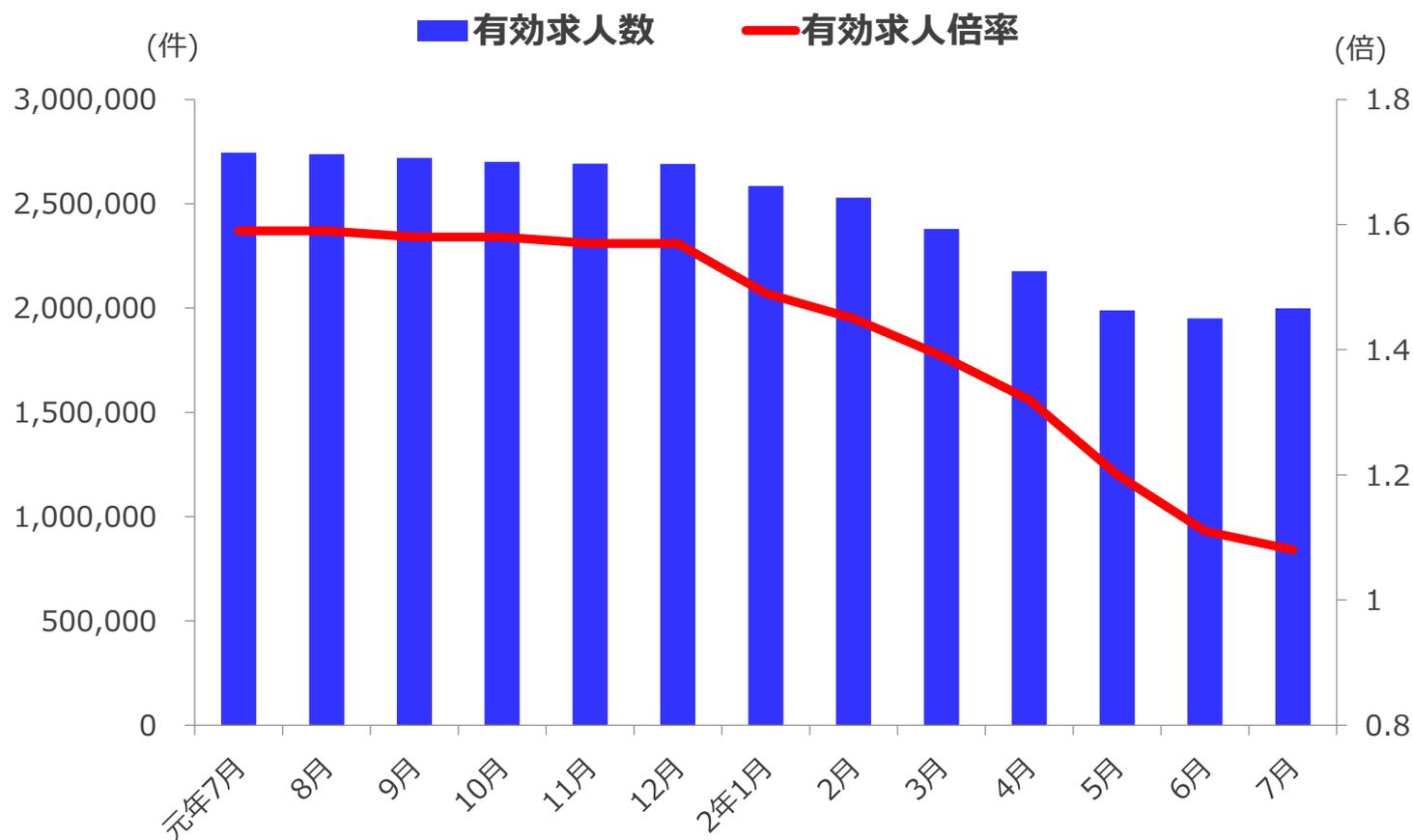
- ・カウンセリング・就活講座・面接会のすべてをオンラインで実施
- ・コロナ禍の影響で中退や解雇等を余儀なくされた方のための窓口として「コロナ中退119番」「コロナ解雇/雇い止め119番」を設置

## 顧客企業及び その社員の方

- ・新入社員研修「仕事の基礎の基礎Live」を無償でライブ配信
- ・「若手向け」「営業向け」等、各種研修サービスをオンラインにて提供
- ・AIを活用したマッチングサイト「FutureFinder®」を期間限定で無償提供

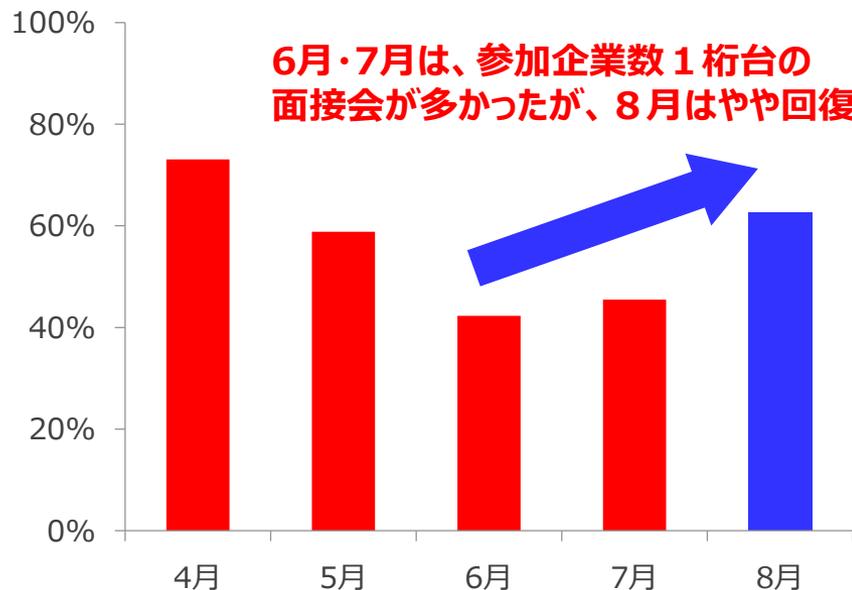
1. 2021年1月期上半期決算実績
2. 新型コロナウイルスの影響
- 3. 下半期の見通しと業績予想**
4. 本資料の取り扱いについて

- 有効求人倍率は、7か月連続で低下
- 有効求人数も減少していたが、7月には増加

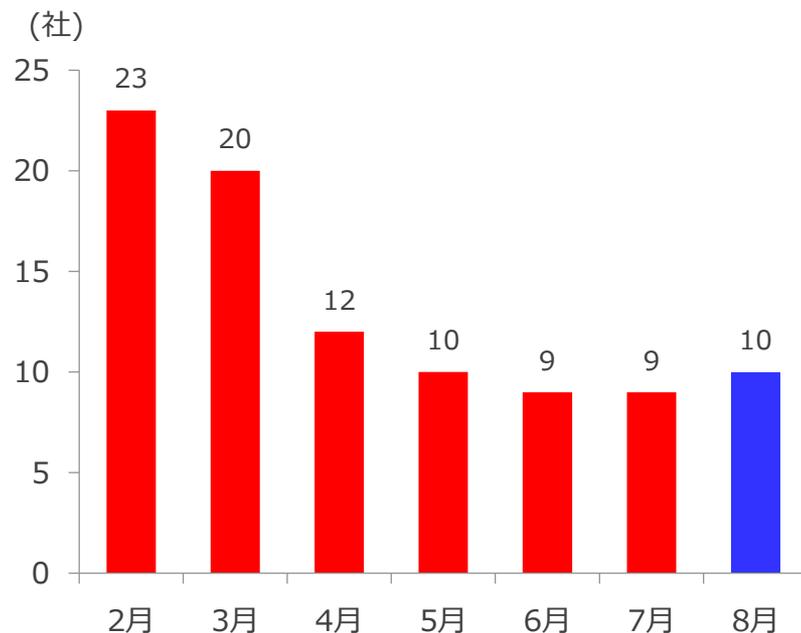


- 6月・7月は参加企業数1桁台の集団面接会が多かったが、8月はやや回復

10社以上の企業が参加した  
集団面接会の、開催数全体における割合



1面接会あたりの  
平均参加企業数（今期）



- 就活研修にテレマーケティング（電話営業）を取り入れた「セールスカレッジ」をリリース。コロナ禍の中、営業強化に取り組む企業のニーズに応じていく

## 営業強化を図る 企業のニーズに応える 「セールスカレッジ」

- ・受講生は自宅で、約150～200件/日のテレマーケティングを行う
- ・「自宅からこれだけのテレマーケティングができる若者」に、企業は好反応
- ・10月には、「女性セールス」を育成・紹介するコースを開催予定
- ・今後は大阪や福岡などでも展開

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	6月24日(水)	6月25日(木)	6月26日(金)	6月29日(月)	6月30日(火)
9:00	9:00～9:15迄に入室しよう		9:15～9:25迄に入室しよう		
9:30	オンボーディング	テレマロープレ	テレマ	テレマ振り返り	商談ロープレ
10:00	・営業職の意義			・成果発表	
10:30	・営業職の基礎			・チーム成績	
11:00	・営業職の魅力				
11:30	・営業職の大変さ				
12:00	・営業職の未来				
12:30					
13:00	テレマに向けて	テレマ		商談ロープレに向けて	企業紹介
13:30	・チーム編成			・チーム編成	
14:00	・準備			・準備	面接ロープレ
14:30					
15:00	テレマロープレ				
15:30					
16:00					修了式
16:30					
17:00					
17:30					

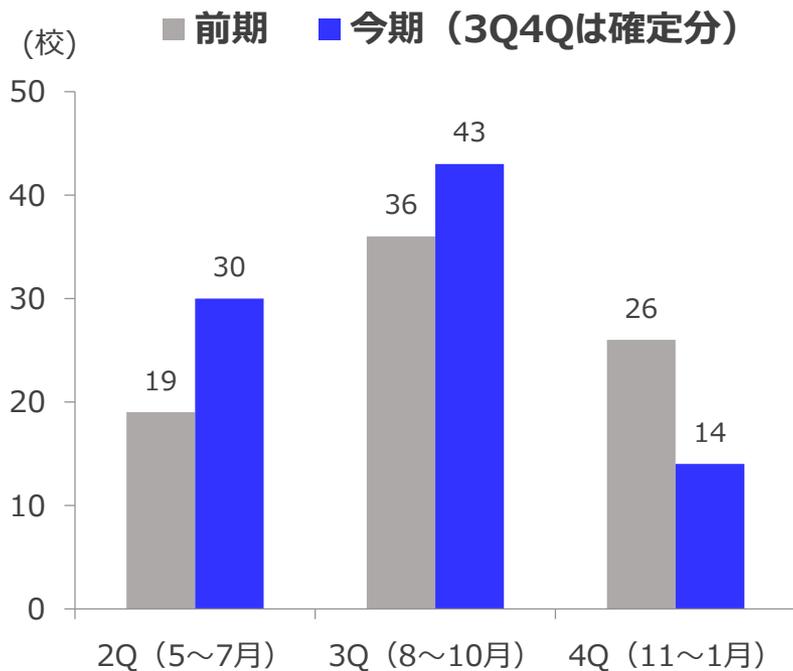
朝9時30分から夕方16時までの、5日間にわたる研修



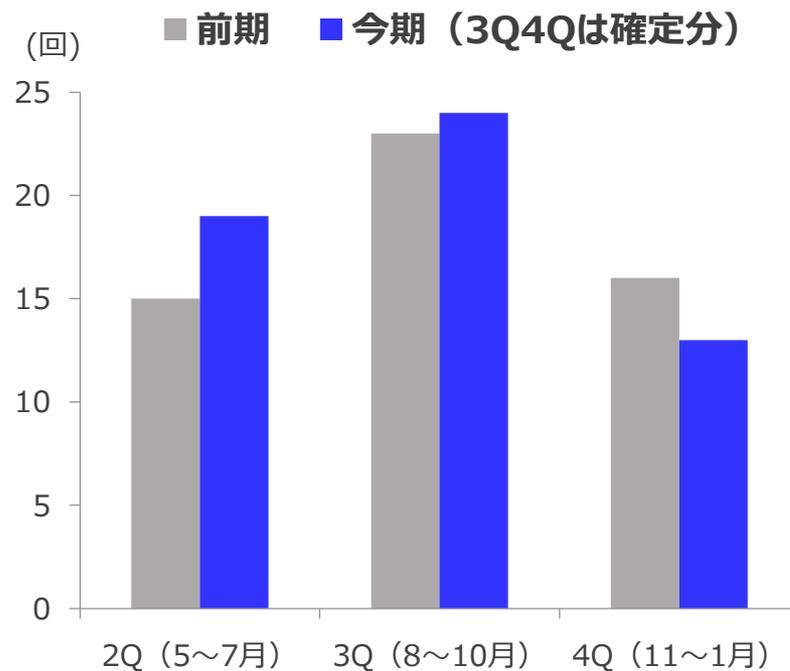
受講生は、約150～200件のテレマーケティングを行う

- 「オンラインによる学生支援・面接会実施」のノウハウを持たない大学から、当社への相談が増加
- イベントに参加する大学数、イベント開催数ともに前期実績を超える見込み

当社主催のイベントへの  
参加大学数

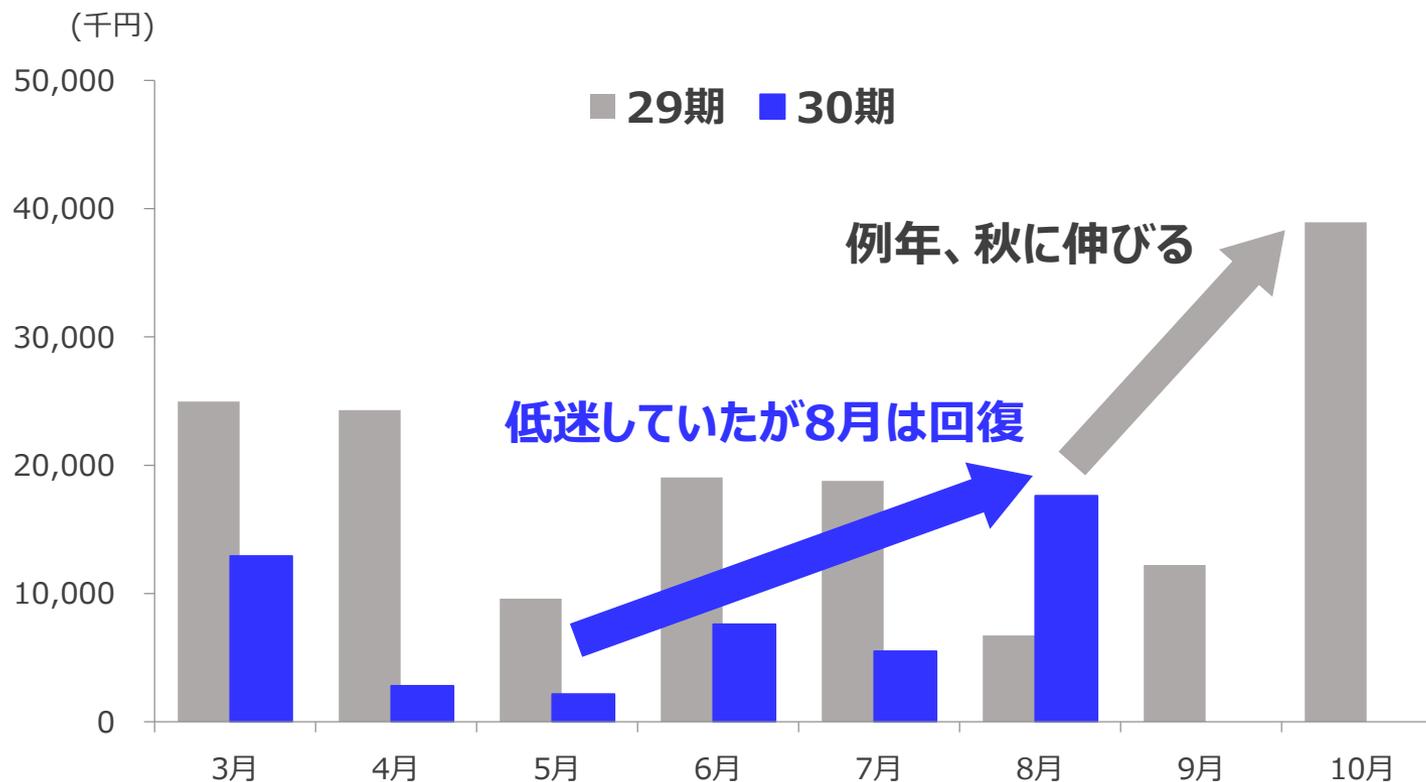


イベント開催数



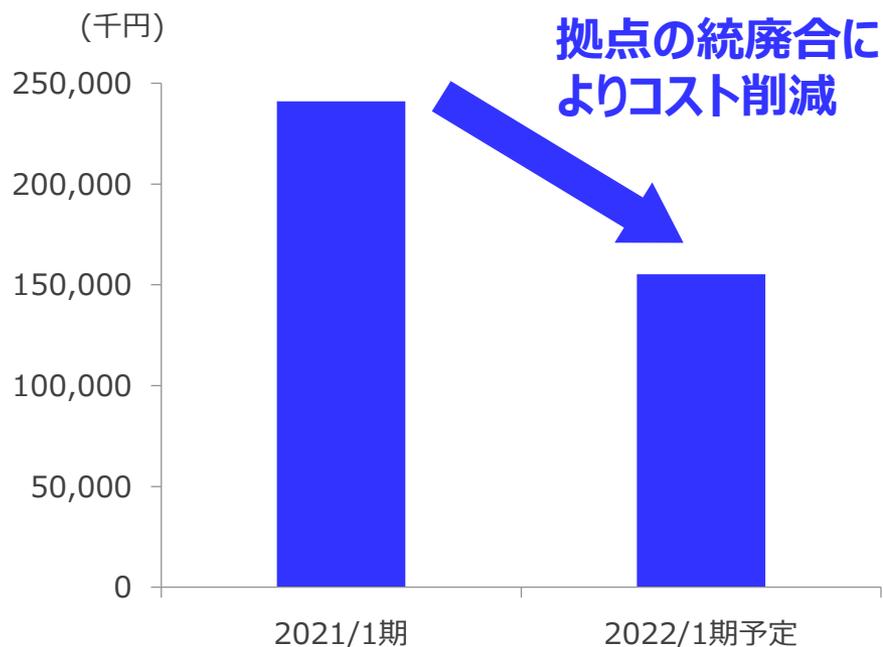
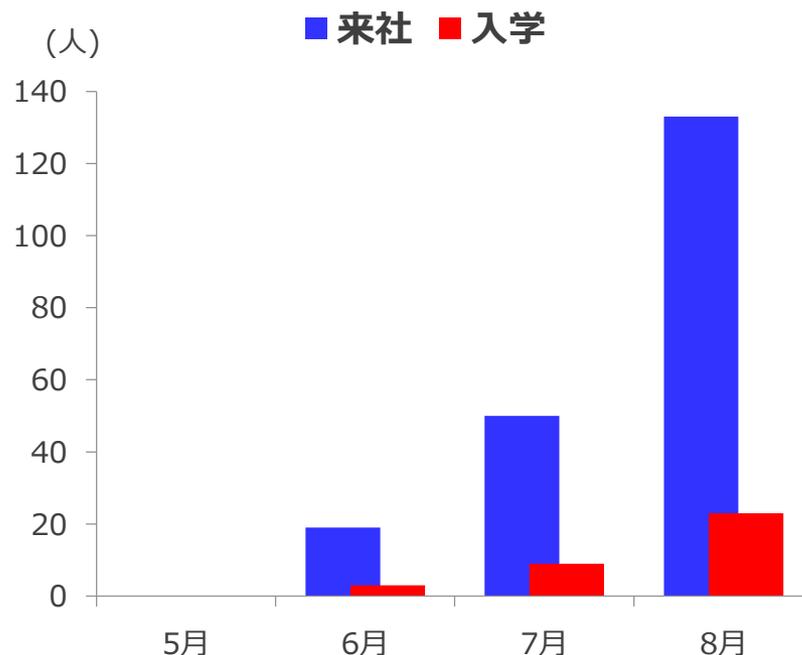
- 教育研修事業は、4月・5月に底に回復中
- 例年、9月・10月と伸びていくので、今期も、8月実績より伸びていくことが見込まれる

教育研修事業 受注金額推移

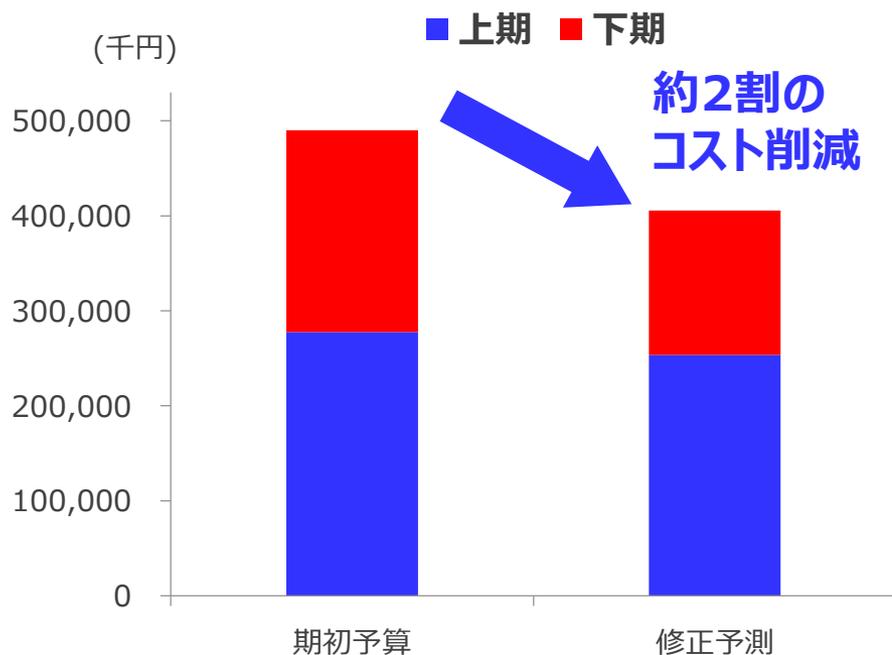
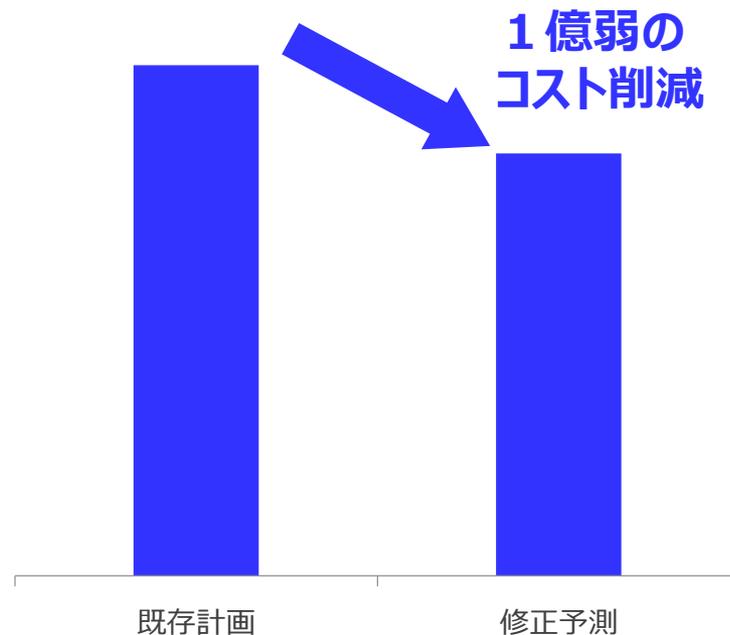


- サービスのオンライン化、社員の在宅勤務への変更により、今のオフィス規模は不要に
- 拠点の統廃合を進めることで、地代家賃の低減に努める
- 熊本オフィスのスタッフも6月から稼働。登録者の歩留まりを下げることで販促効率をあげる

地代家賃の予定金額

熊本オフィスからのアプローチによる  
来社数・入学数推移

- 今期の販促費は、期初予算比で約 2 割の削減見込み
- 来期も同様に、現在の計画より約 2 割、金額にすると約 1 億円弱の販促費削減の見込み

今期販促費  
見込み来期販促費  
見込み

- 第2四半期までの業績動向、及び今後の経営環境を踏まえ、業績予想を下方修正
- 売上高は前回予想比1,038百万円減、営業利益は前回予想比565百万円減、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想比348百万円減となる見通し

(単位：百万円)

	20/1期 実績	21/1期 期初予想	21/1期 修正予想	期初予想 比増減	修正後 前期比
売上高	3,030	3,450	2,412	△1,038	79.6%
営業利益（損失）	341	344	△220	△565	-
経常利益（損失）	333	341	△226	△567	-
親会社株主に帰属する 当期純利益（損失）	213	224	△124	△348	-

当社は、従来より株主への利益還元の充実を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、2021年1月期は1株あたり77円の配当を予定しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受ける中で当期の業績動向等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら2021年1月期の配当予想は無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

	20/1期 実績	21/1期 期初予定	21/1期 修正後予定
配当性向	26.6%	30.4%	-
1株あたり配当金	72円	77円	0円

新型コロナウイルスの影響による業績悪化のため、下記の通り役員報酬を減額いたします。

【減額の内容】

代表取締役	役員報酬月額の50%を減額
常務取締役	役員報酬月額30%を減額
その他取締役（社外取締役を除く）	役員報酬月額20%を減額
執行役員	役員報酬月額20%を減額

【対象期間】

2020年9月から2021年1月まで

1. 2021年1月期上半期決算実績
2. 新型コロナウイルスの影響
3. 下半期の見通しと業績予想
- 4. 本資料の取り扱いについて**

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 現在、世界的な脅威となっております新型コロナウイルス (COVID-19) につきましても、今後の状況次第では、本資料の記述とは異なる結果を招き得る可能性がございます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。